

## 6月専門科診療 ※

日	曜	診療科目	医師	受付時間
1	火	整形外科	永田	8:00~11:30
		耳鼻咽喉科	山口	8:00~11:30
		小児科	瀬戸口	8:00~11:30
2	水	眼科	九大	8:00~11:30
3	木	産婦人科	原	8:00~11:30
		泌尿器科	足立	8:00~11:30
4	金	大腸内視鏡	川上	予約制
8	火	整形外科	永田	8:00~11:30
		小児科	畑地	8:00~11:30
		精神科	松瀬	8:00~15:00
9	水	精神科	松瀬	8:00~11:30
		眼科	九大	8:00~11:30
		神経内科	大塚	8:00~11:30
10	木	産婦人科	原	8:00~11:30
11	金	循環器科	井口	8:00~11:30
		脳神経外科	小野	8:00~10:00
15	火	耳鼻咽喉科	山口	8:00~11:30
		小児科	瀬戸口	8:00~11:30
16	水	眼科	九大	8:00~11:30
17	木	産婦人科	原	8:00~11:30
		泌尿器科	足立	8:00~11:30
18	金	大腸内視鏡	川上	予約制
22	火	小児科	畑地	8:00~11:30
23	水	眼科	九大	8:00~11:30
		整形外科	中村	8:00~11:30
24	木	産婦人科	原	8:00~11:30
29	火	整形外科	永田	8:00~11:30
		小児科	瀬戸口	8:00~11:30
30	水	眼科	九大	8:00~11:30

※専門科診療は、空路決行時に中止になる場合  
や医師変更がある場合もありますのでお電話  
等でお確かめのうえ、ご来院ください。

## 「特定健診」「後期高齢者健診」「若者健診」 を受けましょう！

病気の早期発見のため、健診を受けることはとても大切です。特に受診券が届いた方で普段定期受診されていない方はこの機会に是非健診を受けましょう。

## 「特定健診」「後期高齢者健診」「若者健診」 を受けるには申し込みが必要です！

申込は、  
健診コールセンター

TEL: 52-4811 IP電話: 352-4811

(受付時間: 月曜~金曜 10:00~16:00)

※必要書類が郵送されます。

若しくは、当院予診室にて予約をお取りください。

(受付時間: 13:30~16:00)

必要書類の記入等がありますので、当院での電話予約は承っておりません。

【予約受付期間】

R3年4月26日~R4年1月31日まで

【健診実施期間】

R3年5月13日~R4年2月28日まで

※早めの予約がおすすめです。

### 一重診療所

日	曜	医師	【受付時間】
3	木	八坂	14:30~15:30
10	木	八坂	
17	木	八坂	【診療時間】
24	木	八坂	14:45~15:45

### 乳児健診・予防接種

日	曜	受付時間	完全予約制
1	火	【予防接種】 13:00~13:15	☎ 86-4331 【予約時間】 10:00~12:00 14:00~17:00
8	火		
15	火		
22	火		
29	火		

### 【お問い合わせ】

上対馬病院 ☎86-4321  
 外来予約(IP電話) ☎365-1808  
 訪問看護ステーション ☎86-4334  
 テイクア上対馬 ☎88-9755  
 メール kmts\_soumu@nagasaki-hosp-agency.or.jp



### 上対馬病院基本理念

地域の健康な生活を守る使命の達成のため  
職員ひとりひとりが自覚と責任を持ち  
心のふれあいのある  
患者様の側に立った医療の実践を行う

発行：上対馬病院地域連携室・広報部 ホームページ <http://www.kamibyjo.jp/>

## 特定健診の検査項目について

5月から特定健診の受付が始まりました。今回は特定健診での主な検査の項目とその内容について簡単に説明します。皆さんが検査結果を確認する際の参考にして頂ければと思います。

検査内容		基準値	検査で判ること	説明
質問票			服薬歴・喫煙歴	服薬歴・喫煙歴等の問診
視診・聴診等			体の状態	医師が視診、触診、聴診によって体の状態を外側から調べます。
BMI		18.5-24.9	肥満	身長と体重をもとに、BMIを算出して肥満度を調べます。25以上を「肥満」、18.5未満を「やせ」と判断します。
腹囲		男 85cm 未満 女 90cm 未満	肥満	基準値以上だと内臓脂肪が 100cm <sup>2</sup> 以上蓄積していると推定され、内臓脂肪型肥満の疑いありと判断されます。
血圧		最高血圧 80-129 最低血圧 84 以下	高血圧	高血圧が続くと、血管壁が傷つき血栓ができ、血管の内腔が狭くなり、動脈硬化が進み、心臓病等を招く恐れがあります。
尿検査	尿蛋白	(-) ~ (±)	腎臓の機能	尿蛋白の出現により腎臓疾患の有無を推測します。
貧血	赤血球	男 4.00-5.79 女 3.60-5.19	貧血、 多血の有無	貧血の分類あるいは多血症の診断に役立ちます。ただし、赤血球数単独では評価せず、ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球指数から総合的に判断します。
	ヘモグロビン	男 13.1-17.9 女 12.1-15.9		
	ヘマトクリット	男 38.5-48.9 女 35.5-43.9		
脂質	HDL コレステロール	40 以上	脂質異常	善玉コレステロールで、血管壁に付着した余分なコレステロールを回収して肝臓へ運び処理をします。低下すると動脈硬化の危険因子になります。 悪玉コレステロールで、増加した LDL コレステロールは、血管壁に溜まり、単独で動脈硬化を進行させます。 増加すると虚血性心疾患・脳血管障害を引き起こす動脈硬化の危険因子になります。
	LDL コレステロール	119 以下		
	中性脂肪	149 以下		
糖尿病	尿糖	(-) ~ (±)	高血糖	健康時には、ブドウ糖（血糖）は尿に出ません。血糖が多くなりすぎたり、腎臓に障害があると尿に糖が出ます。尿糖の出現により糖尿病（糖代謝異常）を推測します。 飲食で体内に取り込んだ糖質は、消化吸収されて血液中に入ります（血糖）。上がった血糖値は膵臓から分泌されるインスリンによって下げられます。インスリンの量や作用が足りず血糖値が高いまましていると糖尿病になります。 過去 1~2 ヶ月の平均的な血糖の状態を調べられます。
	空腹時血糖	60-99		
	ヘモグロビン A1c	4.2-5.5		
痛風	尿酸	1.5-7.0	腎臓の機能等	高値の場合は、痛風や痛風腎、尿路結石症を発症します。
腎臓	クレアチニン	男 1.00 以下 女 0.70 以下	腎臓の機能	腎臓の機能が低下すると増加します。
肝臓 胆道	AST (GOT)	8-30	肝臓の機能	肝細胞、心筋、骨格筋、赤血球の破壊により上昇します。 肝臓の機能障害で高値になり、肝疾患の重要な指標です。 肝臓や胆道系の疾患やアルコール性、薬剤性肝障害等でも上昇します。
	ALT (GPT)	4-30		
	γ-GTP	0-50		

特定健診では主に以上のような検査を行っています。一度も受診されていない方は自分の今の状態を知ってもらうためにも、是非受診して頂きたいと思います。